



金透坂



令和6年 4月22日(月) 学校だよりNo.4

発行責任者 校長 嶋 忠夫

安全・安心な学校づくりのために・・・

入学式、始業式の翌日の4月9日(火)から15日(月)の5日間、6年生の交通少年隊の活動が行われました。最高学年の6年生が、安全な登校と明るいあいさつを全校児童に意識付けするとともに、6年生自らもこれまでの伝統を引き継ぎ、最高学年としての自覚を高めることをねらいとして毎年行われています。



6年担任の小島先生のきめ細やかな事前指導に加えて、6年生自身も、どうしたら安全に横断させられるか、自動車の運転手さんにどうあいさつしたら良いかなど、自分たちで相談して実践する姿が見られました。まさに、主体的に考え、行動する姿が見られ、大変感心しました。

また、学区にある警備会社である株式会社エム・エフ・ティ様にもご協力いただき、子どもたちの登校を見守っていただきました。この場をおかりして御礼申し上げます。

今年度、子どもたちの交通事故がゼロとなりますよう、ご家庭での子どもたちへの声かけをお願いします。



また、4月15日(月)には、第1回避難訓練を行いました。地震が発生し、その後、校内で火災が発生したと想定し、訓練を行いました。どの学年も真剣に訓練を行い、目標としていた3分で、全校児童が避難完了することができました。

反省会では、少年消防隊隊長の6年〇〇〇〇

さんが、地震や火事の時の避難の仕方について全校児童に呼びかけることができました。

近年、大きな地震が各地で起きており、小さいうちからの防災教育が求められています。安全・安心な学校づくりを子どもたち主体で実施していくことが大切です。



ちょっといい話・・・

金透小学校では、大休憩の終わりに、金透太鼓による合図が流れます。「ドン、ドン」という合図で、校庭で元気いっぱい遊んでいる子どもたちも、一斉に気を付けの姿勢になって、校旗・校章に注目し、気持ちを落ち着けます。賑やかだった校庭も、一瞬で静まり返り、落ち着いた気持ちで教室に戻ります。この風景は、私が十数年前に金透小学校に勤務していた時と同じでした。よい伝統が確実に引き継がれていることに、うれしくなりました。時代が変わろうとも、大切にすべきことは大切にしていける金透小でありたいものです。

